

アシストミル主催 講演会&シンポジウム

「見えないを知ると、見えてくる社会がある」

誰のためのバリアフリー？当事者の声から考える！

目に障がいがある人がどんな暮らしをしているのだろう？
視覚障がい者の暮らし、想いを語って頂き、社会の配慮や偏見を考えてみませんか？
当事者団体ホワイトラテの講演とアシストミルのメンバーとのシンポジウムを通して
「点字ブロックは本当に使えるものになっているのか？」「多目的トイレは、誰のため
にあるのか？」などバリアフリーについて皆さんと一緒に考えてみませんか！
どなたでもご参加いただけます。どうぞお越しください。

ホワイトラテって？

2019年8月、大阪・梅田のカフェで誕生

「ホワイト」＝白杖を持つ視覚障がい者

「ラテ」＝多様な人と活動を混ぜ合わせたい思い
様々な障がいの仲間と一緒に活動し、視覚障がいの
ことをもっと知ってほしい、アピールしてい
きたいという願いも込めています。



日時 2025年 **11** 月 **23** 日(日) 13:00～16:30

場所 **三島市市民文化会館ゆうゆうホール 大会議室**

参加費 **無 料**

定員 **70名 どなたでも**

情報保障 **要約筆記**

申し込み **裏面の申込書に記入の上FAXにて**

締め切り **11月18日（火）**

後援予定 **三島市・三島市社会福祉協議会**

※この事業は三島市障がい者自発的活動支援事業でおこなっています。

講師プロフィール

伊藤 薫 (いとう かおる)

ヒューマンケア協会で、相談支援、ピア・カウンセリング、介助研修、海外研修、点訳と点字印刷など。ときどき中途視覚障害者のグループILPを行っています。市の自立支援協議会の権利擁護推進部会に参画しています。

ピアカンネームは「いとやん」。

先天性の小眼球・小角膜により、左目は明暗がわかる程度、右目は物の存在や色の判別ができる程度の視力。日常では点字を主に使用し、ブレイルメモを活用してメモや会議参加を行っています。情報収集にはパソコンやスマートフォンの音声読み上げ機能を活用し、デジタルツールを駆使して活動の幅を広げています。

尾濱 由里子 (おはま ゆりこ)

障害者自立生活センター・スクラムの事務局長で相談支援専門員

主に相談支援やピアカウンセリング、交通バリアフリーの活動に取り組んでいる。

全国自立生活センター協議会の副代表

ピアカンネームは「ゆりさん」。網膜色素変性症という進行性の難病により、現在は全盲。情報取得にはパソコンや iPhone の音声読み上げ機能を活用し、点字は簡単な単語の読み取りに使用。エレベーターのボタンや選挙の投票時など、必要に応じて点字を使い分けています。

参加申込書

(必須)

ふりがな
氏 名

(必須)

〒

—

住所

(必須)

TEL

()

連絡先

MAIL

@

障がい 有・無

主催・お問い合わせ 静岡県三島市西本町 10-26

自立生活センターアシストミル

電話・ファックス 055-976-3432